記者発表資料

青森市　弘前市　黒石市　五所川原市　つがる市　平川市　藤崎町　板柳町　鶴田町　中泊町　大鰐町　田舎館村　西目屋村

農林水産省　林野庁　森林整備センター　気象庁　青森県　国土交通省

令和　４年　３月３１日
岩木川流域治水協議会

あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践のため、岩木川水系において「流域治水プロジェクト」を更新しました。

～水害からみんなで津軽の人々の「いのちとくらし」を守る防災減災の推進～

〇令和元年東日本台風での阿武隈川（福島県）・吉田川（宮城県）、令和２年７月豪雨での最上川（山形県）での災害をはじめ、昨今の豪雨災害の激甚化・頻発化を受け、流域を俯瞰し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村等）が協働して取り組む治水対策「流域治水」への転換が重要であるとの認識に基づき、岩木川流域治水協議会での議論を通じて、流域全体で実施すべき対策の全体像を「岩木川水系流域治水プロジェクト」としてとりまとめ、令和３年３月に公表いたしました。

〇今回、グリーンインフラの取り組みや水災害リスク情報、指標を用いた取り組み状況を加えるなどプロジェクトの更なる充実を図りましたので、プロジェクトを更新・公表いたします。

〇「岩木川水系流域治水プロジェクト」では、国、県、市町村等が連携し、河道掘削、堤防整備等を着実に実施していく他、安全・安心なまちづくりや内水被害軽減などの対策を組み合わせた流域治水を引き続き、進めて参ります。

※詳細については、別紙１（岩木川水系流域治水プロジェクト）
又は以下URLよりをご覧下さい。
http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/river/disasteprevention/ryuikichisui.html

＜発表記者会＞：　青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問 合 せ 先

【事　務　局】
東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０番３８号　　電話０１７－７３４－４５２１（代表）
副所長（河川）　金（こん）　真一郎（しんいちろう）　（内線２０４）
調査第一課長　花田（はなだ）　一二（かつじ）　（内線３５１）

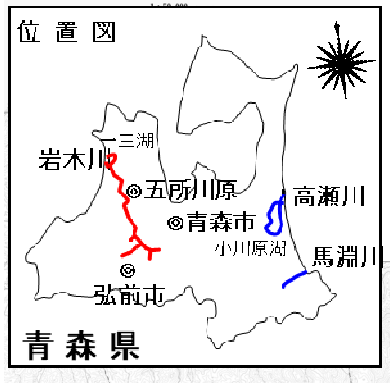
青森県　県土整備部　河川砂防課
青森市長島一丁目１番１号　　電話０１７－７３４－９６６２
企画・防災グループ総括主幹　本間（ほんま）　康弘（やすひろ）　（内線６７３０）

岩木川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～水害からみんなで津軽の人々の「いのちとくらし」を守る防災減災の推進～

別紙1

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、岩木川水系においては、豊富な自然環境を有する流域の特性を考慮した、河川整備に併せて、観光資源や地域産業（りんご栽培等）を支える安全・安心なまちづくりや内水被害軽減対策を組み合わせた流域治水の取り組みを実施することにより、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和52年8月洪水（低気圧）と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堤防整備、河道掘削の促進
- 土砂災害対策（砂防事業、治山対策の推進）
- 流出抑制対策
  （利水ダム等12ダムにおける事前放流等の実施、体制構築、雨水貯留施設整備、水田貯留、森林整備等）
- 内水被害軽減策
  （下水道等の排水施設整備）




避難体制等の強化（自主防災研修会）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 水害リスク空白域の解消
- 避難体制等の強化
  （洪水情報の提供、要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、マイ・タイムライン普及促進、緊急避難場所の整備、講習会等によるマイタイムラインの普及促進、防災教育等）
- 水防体制の整備
  （危機管理型水位計・河川監視カメラの設置等）
- 早期復旧に備えた対策（防災拠点等の整備等）
- 洪水ハザードマップの作成、更新　等





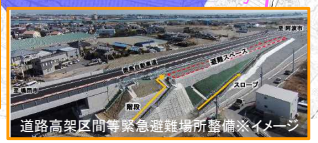
凡例
- 堤防整備
- 河道掘削
- 浸水想定区域（戦後最大の昭和52年8月洪水等と同規模想定）
- 大臣管理区間

防災マップの作成・配布（市）
黒石市
砂防事業（県：急傾斜）
引座川堤防整備・河道掘削（県）
浅瀬石川
平川市
道路高台等への避難場所の整備・確保（国・町）
砂防事業（県：急傾斜）
砂防事業（県）
青森市
浸水リスクを考慮した立地適正化計画の策定（市）
土地利用規制・誘導（市）
避難体制等の強化（市）
浪岡川河道掘削（県）
十川堤防整備・河道掘削（県）
田舎館村
藤崎町
板柳町
避難体制等の強化（町）
下水道幹線整備(町)
引座川
平川
前川
平川河道掘削（県）
前川河道掘削（県）
腰巻川
大和沢川
大和沢川堤防整備・河道掘削（県）
腰巻川堤防整備・河道掘削（県）
弘南鉄道大鰐線
弘南鉄道弘南線
飯詰川河道掘削（県）
旧十川河道掘削（県）
洪水ハザードマップの作成、更新（市）
五所川原市
下水道幹線整備(市)
堤防整備（国）
鶴田町
避難体制等の強化（町）
下水道幹線整備(町)
金木川堤防整備・河道掘削（県）
砂防事業（県）
中泊町
森林整備（町）
避難体制等の強化（町）
ハザードマップの作成、更新（町）
金木川
飯詰川
旧十川
五所川原
国道339号
JR五能線
JR奥羽本線
岩木川
後長根川
後長根川河道掘削（県）
弘前市
砂防事業（県）
砂防事業（県：地すべり）
砂防事業（県：急傾斜）
幹線整備
河道掘削（国）
つがる市
青森県
森林整備（東北森林管理局、青森県、森林整備センター、市町村）
治山対策（東北森林管理局、青森県）
新小戸六ダム
事前放流等の実施、
（河川管理者・ダム管理者）
相馬ダム
相馬ダム（利）事前放流

■被害対象を減少させるための対策

- 土地利用規制・誘導
- 浸水リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し
- 浸水範囲の限定・氾濫水の制御（日常パトロールの強化等）
- 道路高台等への避難場所の整備・確保　等

浸水範囲の限定・氾濫水の制御（日常パトロールの強化等）（市）
浸水リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し（市）
防災マップの作成・配布（市）
避難体制等の強化（市）
雨水貯留施設整備（市）
準用河川の整備・促進（市）



■グリーンインフラの取り組み　　詳細次ページ

※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

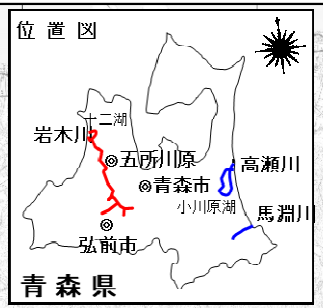
岩木川水系流域治水プロジェクト【流域図】

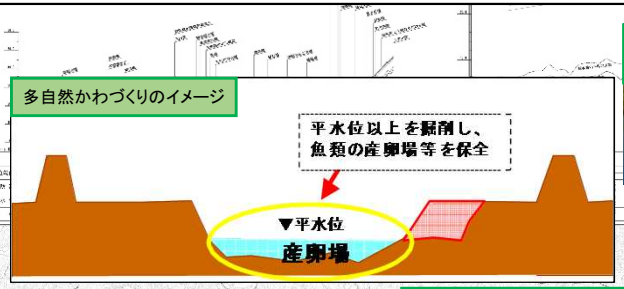
～水害からみんなで津軽の人々の「いのちとくらし」を守る防災減災の推進～

●グリーンインフラの取り組み　『 多様な流れの形成による水生生物の良好な生息・生育環境を目指して 』

○岩木川はアユやウグイなどの多様な魚類が確認されている他、下流部には広大なヨシ原が広がり、日本特産種であるオオセッカの繁殖地となっているなど優れた自然環境を有している。また、最下流部には汽水湖である十三湖があり、全国的にも有名なヤマトシジミをはじめ、数多くの動植物が生息している。
○岩木川では、アユやウグイの良好な産卵場や生息場のためのレキ河原再生を行い、今後概ね7年間で瀬・淵の整備による魚類等の生息環境を再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

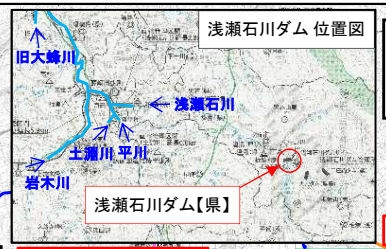
位置図

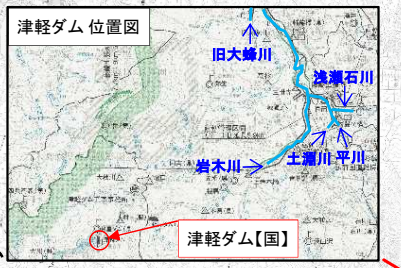
















凡例
- 河道掘削
- 大臣管理区間

青森県

「青森市緑の基本計画」による植栽活動の支援

魚道整備や排水路への脱出スロープ設置による連続性の確保(県)

■グリーンインフラメニュー

●自然環境の保全・復元などの自然再生
・瀬・淵の 再生

●治水対策における多自然川づくり
・生物の多様な生息環境の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み
・環境学習の促進(弘前市内公民館と市教育委員会が小学生向け環境学習)
・自然環境が有する機能を活かした地域振興(津軽ダム及び浅瀬石川ダムを活用したインフラツーリズム、岩木川流域生態系ネットワーク検討委員会のもと、弘前地区の水辺環境を基盤とした生態系からの地域振興)
・「青森市緑の基本計画」による植栽活動の支援
・湿地帯を活用した雨水貯留施設の整備
・雨水調整機能を兼ね備えた都市公園の維持管理
・ヨシ原の火入れ
・住民参加による河川愛護活動(河川のゴミ拾い)
・森林整備による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持

青森市
浪岡川
黒石市
引座川河道掘削(県)
生物の多様な生育環境の保全
平川市
平川河道掘削(県)
東北自動車道
国道7号
JR奥羽本線
浅瀬石川
国道102号
引座川
田舎館村
住民参加による河川愛護活動
(河川のゴミ拾い) (主催:地区会)
平川
弘南鉄道弘南線
前川
前川河道掘削(県)
藤崎町
板柳町
十川
腰巻川
金木川
飯詰川河道掘削(県)
飯詰川
旧十川河道掘削(県)
大和沢川
弘南鉄道大鰐線
大和沢川河道掘削(県)
岩木川
国道339号
鶴田町
JR五能線
五所川原市
五所川原
弘前市
腰巻川河道掘削(県)
後長根川
後長根川河道掘削(県)
瀬・淵の再生
旧十川
幹線整備
雨水貯留施設整備(市)
湿地帯を活用した雨水貯留施設の整備(弘前市)
雨水調整機能を兼ね備えた都市公園の維持管理(弘前市)
準用河川の整備・促進(市)
生物の多様な生育環境の保全(弘前市)
ヨシ原の火入れ(中泊町)
金木川河道掘削(県)
つがる市
森林整備 (東北森林管理局、青森県、森林整備センター、市町村)
森林整備による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持
新小戸六ダム
河道掘削(国)

【全域に係わる取組】
1) 小学校における環境学習
2) 地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援
3) 岩木川流域生態系ネットワーク検討委員会

※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

岩木川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～水害からみんなで津軽の人々の「いのちとくらし」を守る防災減災の推進～

● 岩木川では、上下流、本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進。

【短　期】 五所川原市街地等中流部での災害発生を防ぐため、堤防整備を優先するとともに、岩木川下流部の河道掘削を実施するとともに、安全なまちづくりのための土地利用規制・誘導の推進や、危機管理水位計の設置など住民の避難行動を促す河川情報の充実を図る。

【中　期】 岩木川中下流部の河道掘削を実施し、下流側から流下能力の向上を図るとともに、農業施設と連携した流出抑制等の対策を図る。
防災行政無線の改良及び広域連携による避難体制の強化を図る。

【中長期】 中流部の河道掘削等を実施し、流域全体の安全度の向上を図るとともに、下水道の排水施設整備による内水被害軽減等の対策を図る。さらに、メディアと連携による洪水情報の提供や講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進、要配慮者利用施設の避難確保計画作成等により、改めて地域住民の防災意識の啓発を図るとともに、より確実な避難体制の構築を図る。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。※ ■■■■■　：対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区分	対策内容	実施主体	工程 短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備・河道掘削	青森河川国道事務所・青森県・流域市町村	堤防整備・河道掘削（青森河川国道事務所）		堤防整備・河道掘削（青森県・弘前市） 河道掘削（青森河川国道事務所）
	雨水排水網の整備	流域市町村		雨水幹線網の整備（五所川原市、藤崎町、板柳町・鶴田町）	
	砂防関係施設の整備	青森県	砂防堰堤・急傾斜地対策・地すべり対策の実施（青森県）		
	利水ダム等12ダムによる事前放流等の実施・体制構築	東北農政局・青森河川国道事務所・岩木川ダム統合管理事務所・青森県			
	水田貯留（支援含む）	東北農政局・青森県・流域市町村		※「実施に向けて検討する取り組み」	
	森林整備・治山対策	東北森林管理局・青森県・森林整備センター・流域市町村	森林整備の推進（中泊町）		
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画の策定	流域市町村	立地適正化計画に基づく規制・誘導（青森市、弘前市）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難場所や経路に関する情報の周知	青森県・流域市町村	情報伝達体制の強化	避難確保計画未作成施設への計画作成支援	広域連携の避難体制
	住民の防災意識の向上のための取り組み	岩木川ダム統合管理事務所・青森県・青森地方気象台・流域市町村	マイ・タイムラインの普及促進		水防活動拠点の整備（青森河川国道事務所）
	防災行政無線の改良	岩木川ダム統合管理事務所・流域市町村	防災行政無線の改良		
グリーンインフラの取組	生物の多様な生息環境の保全	青森河川国道事務所・青森県・弘前市	多自然川づくり		
	小学校などにおける環境学習	流域自治体			
	岩木川流域生態系ネットワーク検討委員会	青森河川国道事務所			
	魚道整備や排水路への脱出スロープ設置による連続性の確保	青森県	魚道整備や排水路への脱出スロープ設置（青森県）		
	森林整備による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持	東北森林管理局・青森県・森林整備センター	持続的な森林の保全維持を目的とした植樹活動（青森県）		森林整備事業・治山事業
	住民参加による河川愛護活動（河川のゴミ拾い）	田舎館村			
	「青森市緑の基本計画」による植栽活動の支援	青森市			
	湿地帯を活用した雨水貯留施設の整備	弘前市			
	雨水調整機能を兼ね備えた都市公園の維持管理	弘前市			
	ヨシ原の火入れ	中泊町			

【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■河川対策
全体事業費　約３５０億円　※1
対策内容　堤防整備、河道掘削　等

■下水道対策
全体事業費　約１２０億円　※2
対策内容　雨水貯留施設整備、
下水道等の排水施設整備　等

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
※2：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

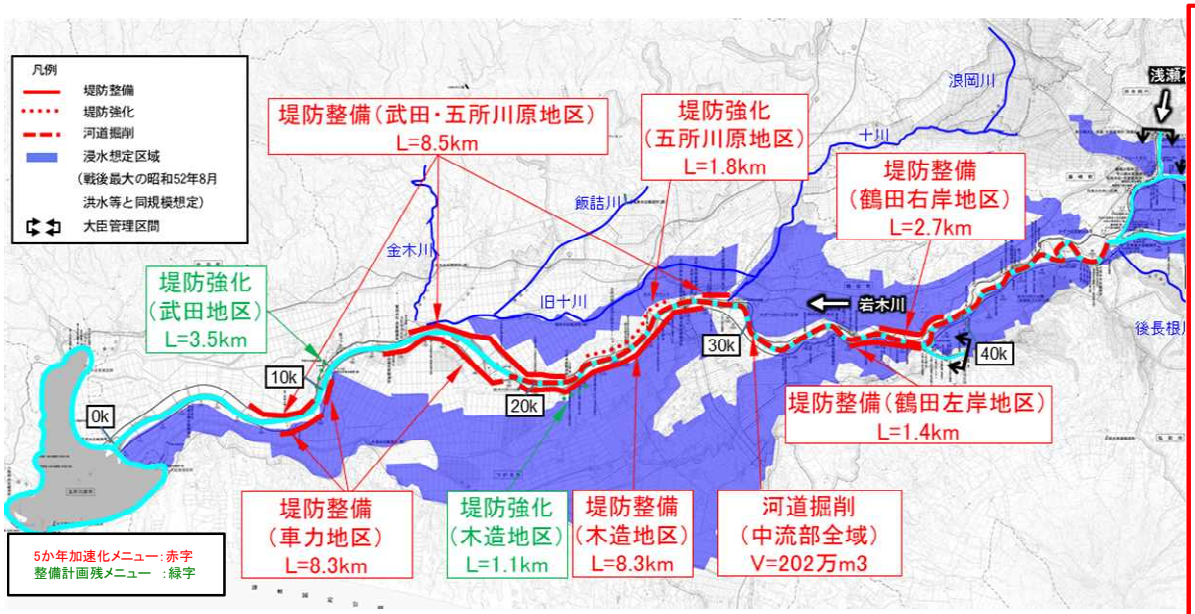
岩木川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～水害からみんなで津軽の人々の「いのちとくらし」を守る防災減災の推進～

進捗と効果
（R4.3版）

○鶴田左岸地区の引堤事業がR5に完了することで、平成25年9月洪水と同規模の洪水に対して、鶴田地区においてHWL以下で流下させることが可能となる。

短期整備（5か年加速化対策）効果 ： 河川整備率 約35%→60%

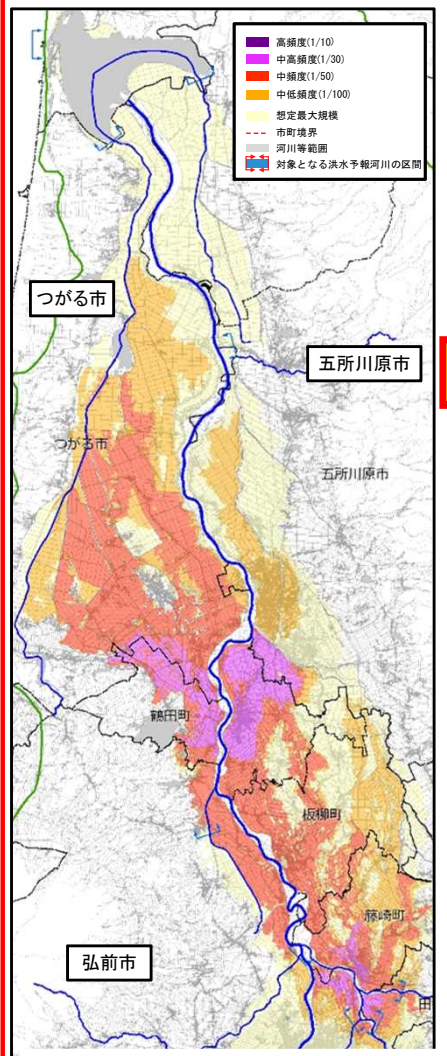


区分	対策内容	区間	工程 短期（R2～R7年）	中期（R8～R12年）	中長期（R13～R18年）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（国）	河道掘削 39%→100%	中流部全域	R3 51%	75%	100%
	堤防整備 63%→100%	鶴田左岸地区	100%		
		鶴田右岸地区	100%		
		五所川原・木造・十三湖・車力・武田・稲垣地区	100%		
	堤防強化 29%→100%	五所川原地区	100%		
		木造・武田地区		100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

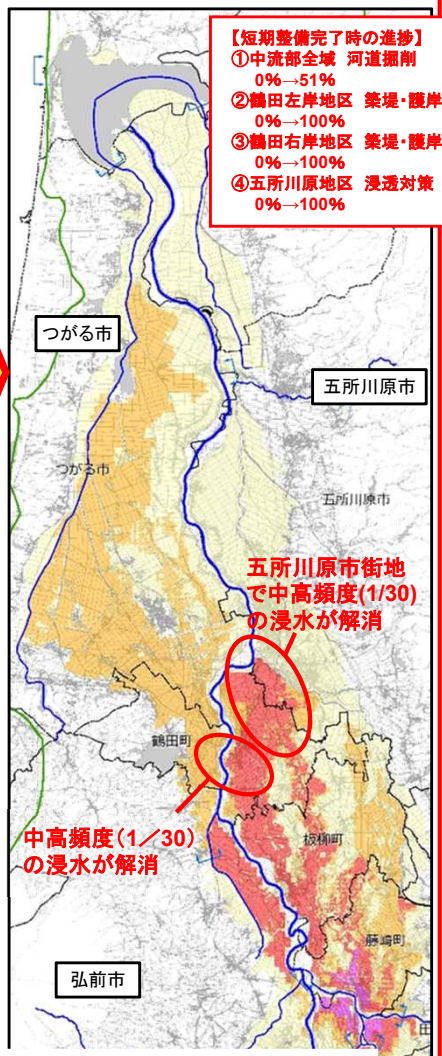
現在

※外水氾濫のみを想定したものである。



短期

※外水氾濫のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
浸水範囲は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。

岩木川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～水害からみんなで津軽の人々の「いのちとくらし」を守る防災減災の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）

整備率：６０％

（概ね５か年後）

農地・農業用施設の活用

１０市町村

（令和３年度末時点）

流出抑制対策の実施

０施設

（令和２年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策

治山対策等の実施箇所　１７箇所

（令和３年度実施分）

砂防関係施設の整備数　２施設

（令和３年度完成分）

立地適正化計画における防災指針の作成

０市町村

（令和３年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備

洪水浸水想定区域　１２河川

（令和３年12月末時点）

内水浸水想定区域　０団体

（令和３年11月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保

避難確保計画　洪水　365施設

土砂　23施設

（令和３年９月末時点）

個別避難計画　集計中

（令和４年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

校庭貯留施設の流出量抑制

【弘前市立南中学校】



【弘前市立第五中学校】



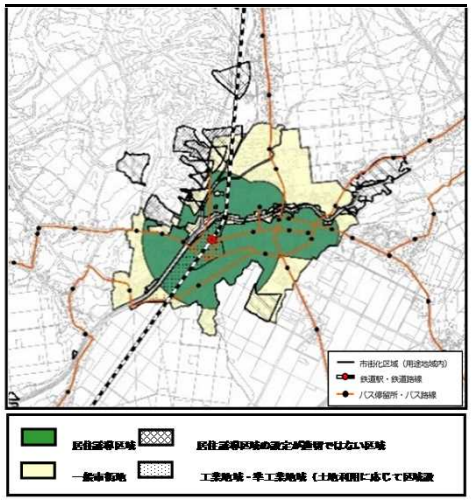
【貯留構造】
校庭内の排水吐口部をオリフィス構造とし、雨水排水を絞り貯留させる

名 称	施工年度	事業費	集水面積	貯留面積	貯留容量	貯留水深	多目的利用
南中学校	S56～S58	99,495千円	2.8ha	12,222㎡	2,085㎡	0.166m	グランド
第五中学校	S61～S62	94,800千円	3.2ha	12,925㎡	1,968㎡	0.150m	グランド

・ゲリラ豪雨による浸水被害が近年多発する中、学校の校庭に雨水貯留浸透機能を持たせ、大雨時に学校敷地内や校庭に降った雨水を一時的に貯留し、河川への流出量を抑制する。（青森県弘前市）

被害対象を減少させるための対策

浸水リスクを考慮した立地適正化計画の作成



居住誘導区域（浪岡地区）

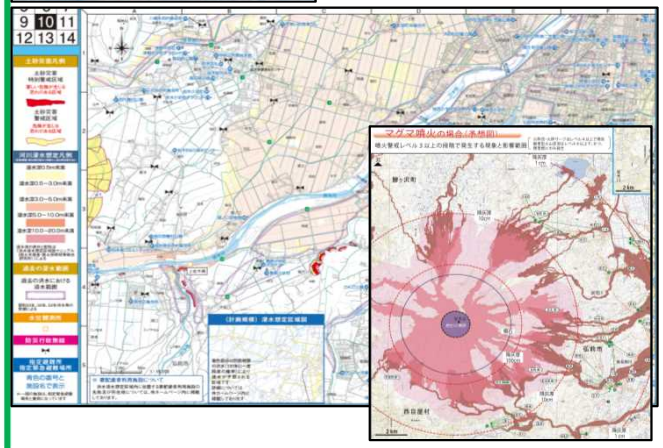
・平成30年3月策定の「青森市立地適正化計画」では、居住誘導区域に含めない区域として、浸水深1m以上の洪水浸水想定区域を設定している。
・概ね5年ごとに社会経済情勢の変化や関連計画との整合等を踏まえて、計画の見直しを検討する。

（青森県青森市）

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

洪水・土砂・火山の総合的な防災マップを作成・配布





・国管理河川や県管理河川の想定最大規模降雨による浸水想定区域図と土砂災害警戒区域、さらには岩木山ハザードマップを統合した総合的な防災マップを令和2年8月に作成済・配布中。

（青森県弘前市）